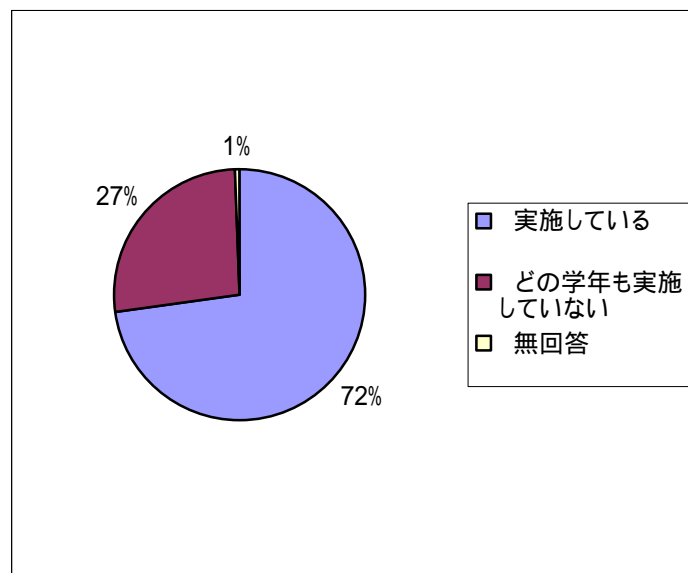


修学旅行以外の「旅行・集団宿泊的行事」の実施状況

1. 宿泊を伴わない旅行・集団宿泊的行事

(1) 実施状況

実施状況	校数	割合(%)
実施している	120	72.7
どの学年も実施していない	44	26.7
無回答	1	0.6
合計	165	100.0

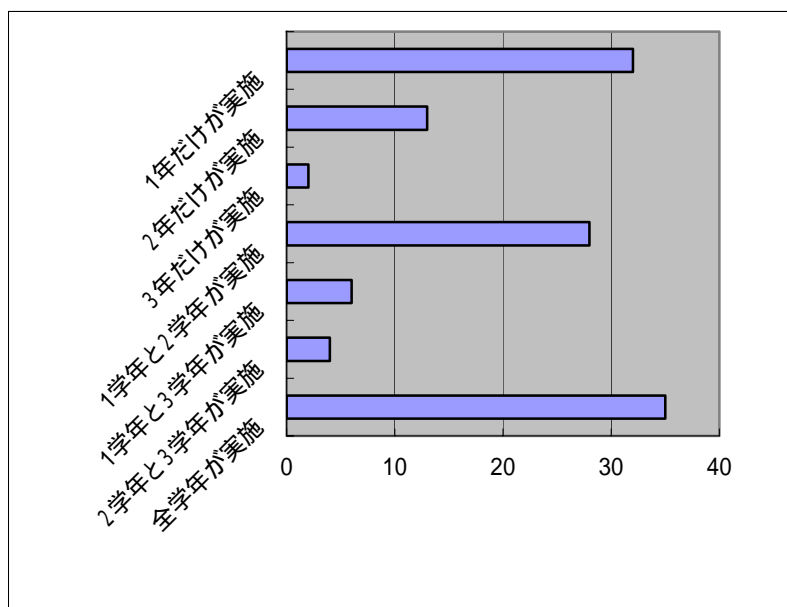


< 考察 >

- ・特に1年生の遠足等ほとんどの学校が日帰り校外行事を実施しているのではないかとと思われるが、「どの学年も実施していない」が26.7と、意外に多い結果が出た。遠足等の日帰り校外行事を体験学習などに代えているのだろうか、追求してみたい。

(2) 実施学年

実施学年	校数	割合 (%)
1 学年だけが実施	32	26.7
2 学年だけが実施	13	10.8
3 学年だけが実施	2	1.7
1 学年と 2 学年が実施	28	23.3
1 学年と 3 学年が実施	6	5.0
2 学年と 3 学年が実施	4	3.3
全学年が実施	35	29.2
合 計	120	100.0



< 考察 >

- ・この結果、1 学年は 101 校 (84.2%) が実施している。
2 学年は 80 校 (66.7%) が実施している。
3 学年は 47 校 (39.2%) が実施している。

やはり 1 学年が実施する学校が最も多く、続いて 2 学年、3 学年の順になることは予想した通りである。

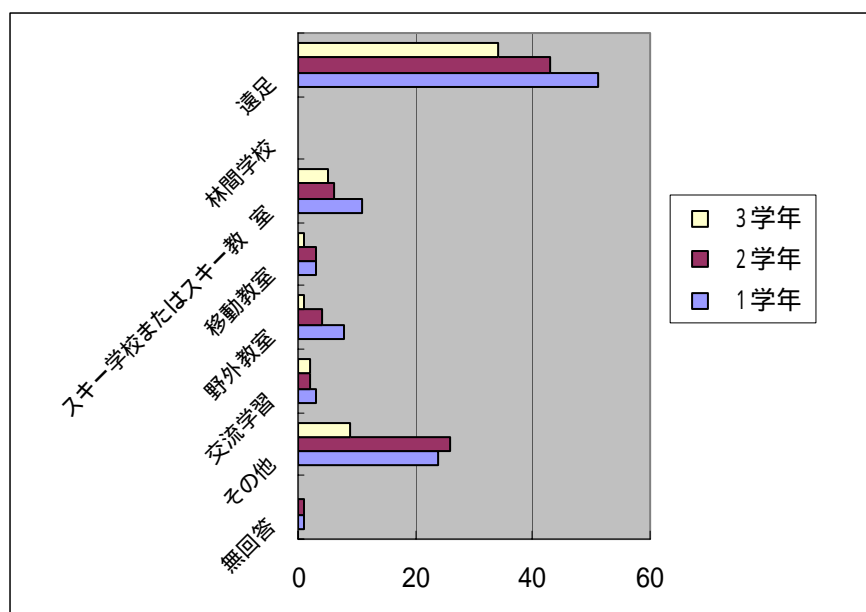
- ・半数の学校が 1 学年だけが実施し、または 1 学年と 2 学年が実施している。
- ・1/3 強の学校が全学年実施しているが、予想以上に高い数値である。

(3) 行事の名称

行事の名称	1学年	2学年	3学年	合計校数	割合(%)
遠足	51	43	34	128	53.8
林間学校	0	0	0	0	0.0
スキー学校またはスキー教室	11	6	5	22	9.3
移動教室	3	3	1	7	2.9
野外教室	8	4	1	13	5.5
交流学习	3	2	2	7	2.9
その他	24	26	9	59	24.8
無回答	1	1	0	2	0.8
合計	101	85	52	238	100.0

「その他」の名称

社会見学、校外学習、歴史探訪、小中交流、体験遠足、校外研修、関谷研修



< 考察 >

- ・やはり遠足と言う名称で実施する学校が半数以上である。
- ・「その他の名称」が24.8%と多いのは、いろいろな名称で実施しているということであり、上記したものが参考になろう。
- ・「林間学校」が0であるが、宿泊を伴わない林間学校はしないということであろう。

(4) 目的 (複数回答)

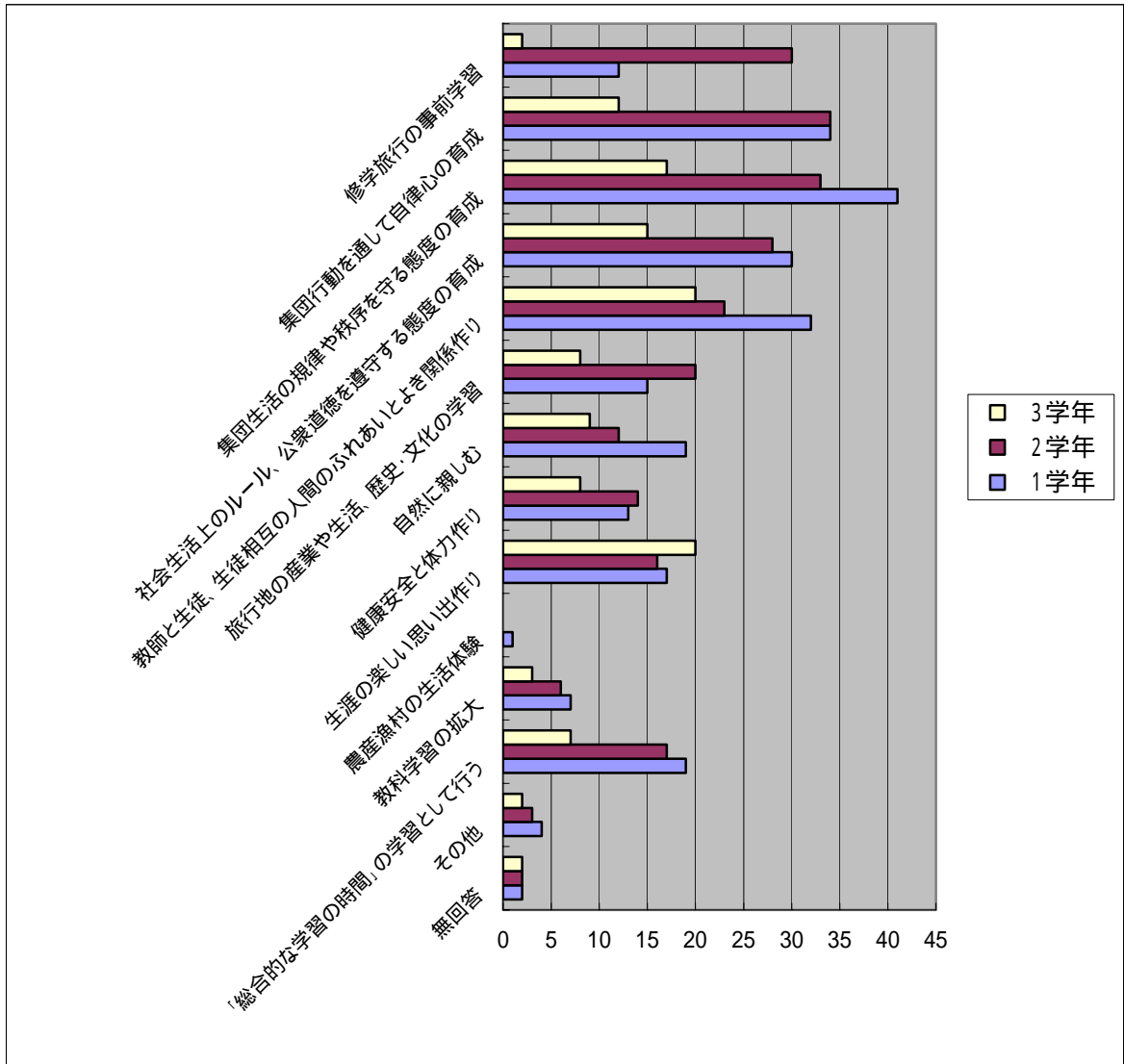
	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合 (%)
修学旅行の事前学習	1 2	3 0	2	4 4	7 . 2
集団行動を通して自律心の育成	3 4	3 4	1 2	8 0	1 3 . 1
集団生活の規律や秩序を守る態度の育成	4 1	3 3	1 7	9 1	1 4 . 9
社会生活上のルール、公衆道徳を遵守する態度の育成	3 0	2 8	1 5	7 3	1 2 . 0
教師と生徒、生徒相互の人間の 触れ合いとよき関係づくり	3 2	2 3	2 0	7 5	1 2 . 3
旅行地の産業や生活、歴史・文化 の学習	1 5	2 0	8	4 3	7 . 1
自然に親しむ	1 9	1 2	9	4 0	6 . 6
健康安全と体力づくり	1 3	1 4	8	3 5	5 . 7
生涯の楽しい思い出づくり	1 7	1 6	2 0	5 3	8 . 7
農山漁村の生活体験	1	0	0	1	0 . 2
教科学習の拡大	7	6	3	1 6	2 . 6
「総合的な学習の時間」の学習 として行う	1 9	1 7	7	4 3	7 . 1
その他	4	3	2	9	1 . 5
無回答	2	2	2	6	1 . 0
合計	2 4 6	2 3 8	1 2 5	6 0 9	1 0 0 . 0

「その他」として

「総合的な学習の時間」とかねた学習

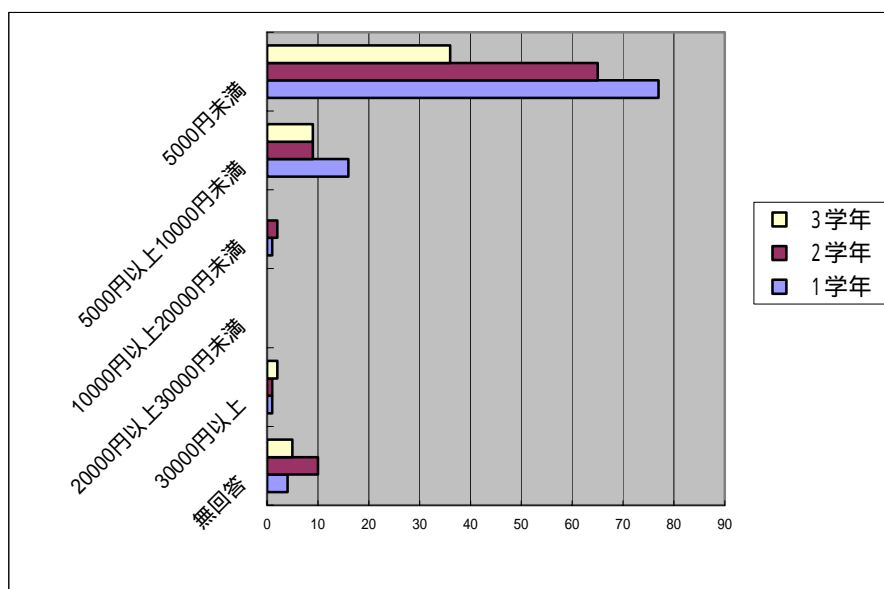
< 考察 >

- ・「集団生活の規律や秩序を守る態度の育成」「集団行動を通して自律心の育成」が最も多いが、少子化の中で集団生活や集団行動を通して生徒に学ばせることの重要性を多くの学校が認識しているからであろう。それも1学年が多い。
- ・続いて「社会生活上のルール、公衆道徳を遵守する態度の育成」「教師と生徒、生徒相互の人間の触れ合いとよき関係づくり」が多い。公衆道徳や人間関係作りを学校が重視し、校外学習がこれらのことを学ばせる学習の好機と見ているのではないだろうか。
- ・修学旅行の事前学習として行うのは2学年が多く、3学年ではほとんど行っていない。
- ・教科学習の拡大はどの学年も少ない。体験や生活訓練的なものをねらう学校が多いこと
いうことである。



(5) 費用

費用	1 学年	2 学年	3 学年	合 計	割合 (%)
5000 円未満	77	65	36	178	74.8
5000 円以上 10000 円未満	16	9	9	34	14.3
10000 円以上 20000 円未満	1	2	0	3	1.3
20000 円以上 30000 円未満	0	0	0	0	0.0
30000 円以上	1	1	2	4	1.7
無回答	4	10	5	19	8.0
合 計	99	87	52	238	100.0

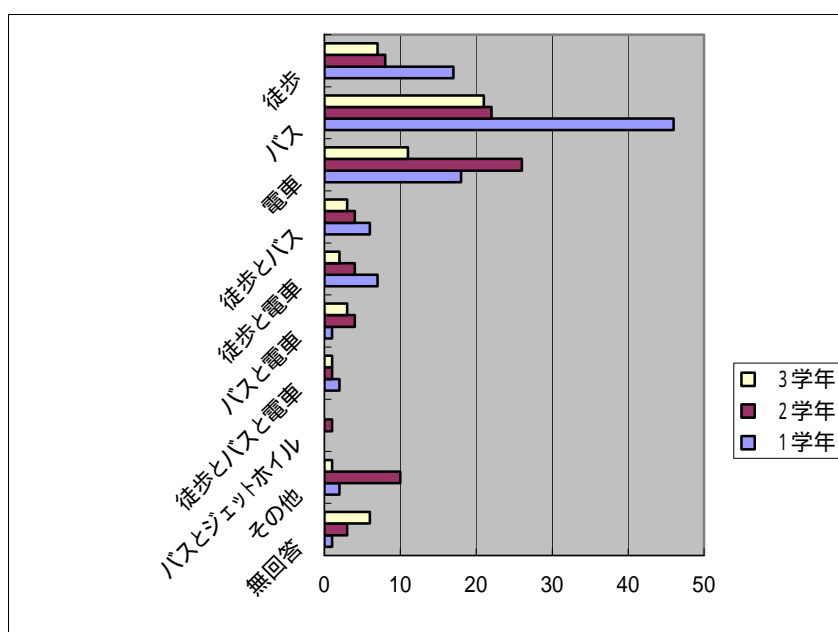


< 考察 >

- ・ 日帰りであり、5000 円未満の費用で行う学校が圧倒的に多い。
- ・ 10000 円以上は少ないが、その中で 30000 円以上が 4 校回答している。交通費・行き先での体験の費用・小遣いなどすべてを含みと 30000 円以上になるのか、あるいは他の理由があるのか定かでない。

(6) 主な交通機関(複数回答)

交通機関	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合 (%)
徒歩	17	8	7	32	13.4
バス	46	22	21	89	37.4
電車	18	26	11	55	23.1
徒歩とバス	6	4	3	13	5.5
徒歩と電車	7	4	2	13	5.5
バスと電車	1	4	3	8	3.4
徒歩とバスと電車	2	1	1	4	1.7
バスとジェットホイル	0	1	0	1	0.4
その他	2	10	1	13	5.5
無回答	1	3	6	10	4.2
合計	100	83	55	238	100.0



< 考察 >

- ・ 1 / 3 強がバス利用であり、電車、徒歩と続く。予想の通りである。
- ・ 他の交通機関と組み合わせも含め、「バスを利用する」がやく 47% となる。
- ・ ジェットホイルがあるが、その地の特長によって利用する交通機関も様々であることがわかる。